



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 創健社
コード番号 7413 URL <http://www.sokensha.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 靖
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 飯田雅之

TEL 045-491-1441

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	2,152	△3.2	△35	—	△33	—	△30	—
29年3月期第2四半期	2,223	0.0	△24	—	△21	—	△22	—

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 △28百万円 (—%) 29年3月期第2四半期 △28百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	△44.04	—
29年3月期第2四半期	△32.30	—

(注)平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
30年3月期第2四半期	2,579	—	980	—	38.0	1,401.13
29年3月期	2,756	—	1,016	—	36.9	1,451.95

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 980百万円 29年3月期 1,016百万円

(注)平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しておりますので、平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たりの年間配当金は1円となります。詳細は、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	5.5	20	—	20	—	15	—	21.44

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注)平成30年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細は、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	705,500 株	29年3月期	705,500 株
----------	-----------	--------	-----------

② 期末自己株式数

30年3月期2Q	5,710 株	29年3月期	5,710 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	699,790 株	29年3月期2Q	699,799 株
----------	-----------	----------	-----------

(注)平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数及び期末自己株式数並びに期中平均株式数を算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2.平成29年6月29日開催の第50回定時株主総会で株式併合を決議し、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。併せて同日付で単元株式数の変更(1,000株から100株への変更)を実施しております。なお、株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下の通りです。

- (1) 平成30年3月期の配当予想
1株当たり配当金期末1.00円
(2) 平成30年3月期の連結業績予想
1株当たり当期純利益通期2.14円

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10
(その他注記事項)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成29年4月1日～平成29年9月30日）におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善に加え設備投資についても堅調に増加し、緩やかな回復がみられる一方、海外の政治情勢や経済の不確実性が懸念されるなどから、景気の先行きは依然として不透明な状況のまま推移しております。

当社グループを取り巻く食品業界におきましては、食の安全や食に健康を求める消費者意識が高まる一方、社会保障等の将来への不安感や消費者物価の上昇等の影響により食に経済性や簡便性を求める消費者も多く存在し、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような経営環境の下、当社グループは「食」が持つ大切さを訴えるという創業以来の企業使命を果たすため、第4次中期経営計画『新たなマーケットの開拓』（平成29年4月1日から平成32年3月31日まで）を作成しました。その初年度となります当連結会計年度におきましては、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて国内の食の安全と、オーガニック市場への関心について大手食品企業を含めた競争がさらに高まる中、当社グループブランド商品のファン作りに注力するとともに、目標の営業利益額を達成するために役員・社員一丸となって取り組む所存でございます。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの商品品目別売上高につきましては、「副食品」が、熟成発酵黒にんにく及びコンビーフの売上減があったものの、有機トマト缶及びさば水煮缶詰等の売上増により前年同四半期比14百万円増（3.5%増）の4億14百万円、「嗜好品・飲料」が、チョコレート及び五穀茶の売上減があったものの、新商品の菓子（メイシーのり塩スナック）等の売上増により前年同四半期比8百万円増（2.4%増）の3億68百万円、「栄養補助食品」が、ユーグレナ及びルテイン等の売上減があったものの、ハト麦酵素やモリンガ（ハーブ系青汁）等の売上増により前年同四半期比8百万円増（9.2%増）の96百万円となりました。しかしながら、「油脂・乳製品」が、ごま油の売上増があったものの、えごま油及びマーガリン等の売上減により前年同四半期比51百万円減（13.2%減）の3億36百万円、「調味料」が、マヨネーズ及び新商品シーザーサラダドレッシング等の売上増があったものの、液体だし及び胡麻ドレッシング等の売上減により前年同四半期比32百万円減（4.4%減）の7億4百万円、「乾物・雑穀」が、味付のり及び餅きび等の売上増があったものの、押麦及びもち麦等の売上減により前年同四半期比17百万円減（10.3%減）の1億54百万円、「その他」が、ビタミンC保湿美容液及び虫よけスプレー等の売上増があったものの、スチームオープン及び水素茶発生瓶等の売上減により前年同四半期比0.3百万円減（0.5%減）の76百万円となりました。

この結果、全体の売上高は、21億52百万円（前年同四半期比70百万円減、3.2%減）となり、売上総利益率25.4%と前年同四半期比0.6ポイント増となりました。販売費及び一般管理費は5億82百万円（前年同四半期比7百万円増、1.2%増）となり、営業損益につきましては、営業損失35百万円（前年同四半期は、営業損失24百万円）、経常損益につきましては、経常損失33百万円（前年同四半期は、経常損失21百万円）という結果にて終了しました。また、親会社株主に帰属する四半期純損益につきましては、親会社株主に帰属する四半期純損失30百万円（前年同四半期は、親会社株主に帰属する四半期純損失22百万円）となりました。

品目別販売及び仕入実績の状況

当社グループの事業は単一グループであり、当第2四半期連結累計期間の販売及び仕入実績をセグメントごと及び事業部門ごとに示すことができないため、品目別に示すと、次のとおりであります。

① 販売実績

品目別	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)			主要商品
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	前年同四 半期比	
油脂・乳製品	387,687	17.4	336,564	15.6	13.2%減	マーガリン・ベに花油・えごま油・オリーブ油・ココナッツオイル・菜種油・原材料用サラダ油・ごま油
調味料	737,144	33.2	704,683	32.7	4.4%減	醤油・味噌・砂糖・塩・酢・カレー・シチュー・マヨネーズ・ドレッシング・液体だし・顆粒だし・醗酵調味料・蜂蜜
嗜好品・飲料	360,356	16.2	368,970	17.1	2.4%増	菓子・野菜果汁飲料・お茶・ドライフルーツ・五穀茶・発酵飲料・ナッツ類・メイシーシリーズ(菓子)
乾物・雑穀	172,121	7.7	154,355	7.2	10.3%減	小麦粉・パン粉・米・黒米・雑穀・鰹節・昆布・ひじき・蓮根粉・ハトムギ粒・餅きび・押麦・キヌア・切干大根・チアシード・炒り胡麻・もち麦・味付のり・干し桜えび
副食品	400,468	18.0	414,577	19.3	3.5%増	ジャム・スープ・レトルト食品・麺類・缶詰・熟成発酵黒にんにく・パンケーキ粉・らっきょう甘酢漬・シリアル食品・みそ汁・お節お重商品・炊き込みごはんの素・五目ちらし寿司の素・かき揚げ(冷凍)・コンビーフ・ピーナッツスプレッド・蒲鉾
栄養補助食品	88,808	4.0	96,944	4.5	9.2%増	青汁・キダチアロエ・梅エキス・ユーグレナ・ハトムギ酵素・乳酸菌・天茶エキス・コラーゲン・碁石茶・生姜粉末・板藍根・ルイボス茶・ルテイン・モリンガ(ハーブ系青汁)
その他	77,027	3.5	76,675	3.6	0.5%減	トイレタリー・機械器具・化粧品・虫よけスプレーなど
合計	2,223,613	100.0	2,152,771	100.0	3.2%減	—

※ 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 仕入実績

品目別	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)		
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	前年同四半期比
油脂・乳製品	288,267	17.4	263,510	16.3	8.6%減
調味料	557,768	33.7	533,358	33.0	4.4%減
嗜好品・飲料	280,738	16.9	283,946	17.6	1.1%増
乾物・雑穀	139,810	8.4	125,661	7.8	10.1%減
副食品	260,937	15.8	278,991	17.2	6.9%増
栄養補助食品	59,994	3.6	68,742	4.2	14.6%増
その他	69,714	4.2	63,488	3.9	8.9%減
合計	1,657,231	100.0	1,617,699	100.0	2.4%減

※ 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1億83百万円の減少となりました。この主な要因は、「受取手形及び売掛金」の40百万円増加などがあったものの、「現金及び預金」の2億40百万円減少などによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて6百万円の増加となりました。この主な要因は、「建物及び構築物」の2百万円減少などがあったものの、「保険積立金」の9百万円増加などによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1億76百万円減少し、25億79百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて74百万円の減少となりました。この主な要因は、「支払手形及び買掛金」の43百万円増加などがあったものの、「短期借入金」の1億23百万円減少などによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて66百万円の減少となりました。この主な要因は、「役員退職慰労引当金」の4百万円増加などがあったものの、「長期借入金」の74百万円減少などによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1億41百万円減少し、15億99百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて35百万円の減少となりました。この主な要因は、「その他有価証券評価差額金」の2百万円増加があったものの、「利益剰余金」の37百万円減少(親会社株主に帰属する四半期純損失30百万円の計上及び配当金の総額6百万円)によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、営業活動の結果20百万円、投資活動の結果11百万円及び財務活動の結果2億8百万円を使用し、当第2四半期連結会計期間末には8億51百万円(前年同四半期比34百万円減)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動に係るキャッシュ・フローは、仕入債務の増加額51百万円などがあったものの、売上債権の増加額41百万円及び税金等調整前四半期純損失29百万円などにより、使用した資金は20百万円(前年同四半期比13百万円増)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に係るキャッシュ・フローは、保険積立金の積立による支出9百万円及び有形固定資産の取得による支出6百万円などにより、使用した資金は11百万円(前年同四半期比5百万円減)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に係るキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出1億18百万円及び短期借入金の純減額80百万円などにより、使用した資金は2億8百万円(前年同四半期比1億48百万円増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想に関しましては、前回予想(平成29年5月18日に発表いたしました連結業績予想)から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,325,347	1,085,198
受取手形及び売掛金	669,432	709,884
商品及び製品	200,695	224,562
仕掛品	75	80
原材料及び貯蔵品	25,046	27,109
その他	32,800	23,837
貸倒引当金	△1,259	△1,916
流動資産合計	2,252,138	2,068,756
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	294,860	295,090
減価償却累計額	△238,070	△240,559
建物及び構築物（純額）	56,789	54,531
土地	88,371	88,371
リース資産	32,594	33,449
減価償却累計額	△12,610	△14,025
リース資産（純額）	19,983	19,423
建設仮勘定	886	203
その他	185,427	189,008
減価償却累計額	△166,179	△169,187
その他（純額）	19,248	19,821
有形固定資産合計	185,280	182,351
無形固定資産		
その他	9,667	8,676
無形固定資産合計	9,667	8,676
投資その他の資産		
投資有価証券	95,584	98,304
保険積立金	158,246	167,247
その他	59,452	59,369
貸倒引当金	△4,227	△5,141
投資その他の資産合計	309,055	319,781
固定資産合計	504,003	510,808
資産合計	2,756,141	2,579,565

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	472,085	515,135
短期借入金	600,527	476,633
リース債務	6,350	6,548
未払法人税等	5,126	5,176
賞与引当金	10,007	10,107
その他	82,095	87,965
流動負債合計	1,176,191	1,101,566
固定負債		
長期借入金	247,977	173,808
リース債務	14,824	14,477
繰延税金負債	8,357	9,333
役員退職慰労引当金	85,400	89,500
退職給付に係る負債	168,068	169,706
その他	39,260	40,676
固定負債合計	563,887	497,503
負債合計	1,740,079	1,599,069
純資産の部		
株主資本		
資本金	920,465	920,465
資本剰余金	45,965	45,965
利益剰余金	41,509	3,695
自己株式	△11,081	△11,081
株主資本合計	996,858	959,044
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,204	21,451
その他の包括利益累計額合計	19,204	21,451
純資産合計	1,016,062	980,496
負債純資産合計	2,756,141	2,579,565

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	2,223,613	2,152,771
売上原価	1,672,026	1,605,140
売上総利益	551,586	547,631
販売費及び一般管理費	※ 575,806	※ 582,900
営業損失(△)	△24,219	△35,269
営業外収益		
受取利息	135	90
受取配当金	1,010	912
仕入割引	1,869	1,769
貸倒引当金戻入額	169	—
破損商品等賠償金	142	550
その他	1,171	1,008
営業外収益合計	4,499	4,331
営業外費用		
支払利息	2,147	2,088
その他	105	0
営業外費用合計	2,253	2,088
経常損失(△)	△21,974	△33,026
特別利益		
固定資産売却益	362	—
投資有価証券売却益	—	3,496
特別利益合計	362	3,496
特別損失		
固定資産除却損	0	6
特別損失合計	0	6
税金等調整前四半期純損失(△)	△21,611	△29,537
法人税、住民税及び事業税	991	1,279
法人税等合計	991	1,279
四半期純損失(△)	△22,603	△30,816
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△22,603	△30,816

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純損失(△)	△22,603	△30,816
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,195	2,247
その他の包括利益合計	△6,195	2,247
四半期包括利益	△28,799	△28,568
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△28,799	△28,568
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△21,611	△29,537
減価償却費	14,148	11,148
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△5,910	1,638
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△12,000	4,100
賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,278	100
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,415	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△169	1,571
受取利息及び受取配当金	△1,146	△1,002
仕入割引	△1,869	△1,769
支払利息	2,147	2,088
固定資産除却損	0	6
固定資産売却損益(△は益)	△362	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△3,496
売上債権の増減額(△は増加)	71,858	△41,142
破産更生債権等の増減額(△は増加)	—	△913
たな卸資産の増減額(△は増加)	9,741	△25,934
仕入債務の増減額(△は減少)	△28,536	51,833
未払消費税等の増減額(△は減少)	△6,223	1,209
その他	△7,486	7,998
小計	1,887	△22,099
利息及び配当金の受取額	944	855
利息の支払額	△1,969	△1,737
役員退職慰労金の支払額	—	△2,100
法人税等の支払額	△8,990	△1,061
法人税等の還付額	1,267	5,793
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,860	△20,348
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△233,900	△233,900
定期預金の払戻による収入	234,050	233,750
有形固定資産の取得による支出	△9,510	△6,380
有形固定資産の売却による収入	456	—
無形固定資産の取得による支出	—	△1,032
投資有価証券の売却による収入	—	4,000
貸付金の回収による収入	432	337
保険積立金の積立による支出	△9,277	△9,031
差入保証金の回収による収入	—	173
その他	417	136
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,332	△11,946
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	30,000	△80,000
長期借入れによる収入	60,000	—
長期借入金の返済による支出	△130,632	△118,063
リース債務の返済による支出	△5,136	△3,046
自己株式の取得による支出	—	△2
配当金の支払額	△13,797	△6,891
財務活動によるキャッシュ・フロー	△59,565	△208,002
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△83,759	△240,298
現金及び現金同等物の期首残高	970,047	1,091,897
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 886,288	※ 851,598

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

当社グループは、健康自然食品の卸売業として単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

当社グループは、健康自然食品の卸売業として単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(その他注記事項)

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
荷造運送・保管費	150,922千円	156,329千円
貸倒引当金繰入額	—	1,571
給料手当及び賞与	151,859	155,709
研究開発費	14,737	13,795
退職給付費用	17,499	14,460
役員退職慰労引当金繰入額	3,900	4,100
賞与引当金繰入額	10,413	9,707

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
現金及び預金勘定	1,119,888千円	1,085,198千円
預入期間が3か月を超える定期預金	△233,600	△233,600
現金及び現金同等物	886,288	851,598